

小学部 3 年・中学部 2 年・高等部 1 年 自立活動（朝の活動・朝の会）学習指導案

日 時：平成 27 年 7 月 14 日（火）

場 所：療育訓練室

指導者：T 1、T 2、T 3、T 4

1 題材名 「朝の活動・朝の会」

2 目標

- (1) 登校準備を通して学校の始まりに気付き、学習への期待感をもつ。
- (2) 集団の中で返事や係活動に取り組み、発声や表情の変化、身体の動きで自分の意思を表す。
- (3) グループの友達や教師が分かり、注目したりやり取りを楽しんだりする。

3 児童生徒と題材

(1) 児童生徒について

小学部 3 年、中学部 2 年、高等部 1 年 2 名の 4 名からなる本学習グループで朝の活動と朝の会を行っている。学部は異なるが、全員 2 階病棟に入院している。4 名の内の 3 名は昨年度も一緒にグループでなじみのあるメンバーであり、登校すると友達に気付き、視線を向けたり笑顔になったりする。もう 1 名は過年度卒業生であり、入学当初は久々の学校生活に戸惑い表情を硬くしていたが、毎日の朝の活動や教師や友達とのやり取りを通して気持ちが落ち着き、笑顔が見られるようになってきた。

朝の活動では、教師や友達との挨拶や学習室への移動により学校生活の始まりに気付いたり、係活動の準備を教師と一緒にやることを通して学習が始まる楽しさや期待感をもったりしていることが、表情の変化や発声から読み取れる。

朝の会では、まだ児童生徒と教師の間のやり取りが多くを占めるが、名前を呼ばれた時に顔を上げて笑顔になったり、友達の動きや教材を見て発声や表情で気持ちを表す様子が見られたりするようになってきている。また、手や腕などそれぞれの得意な動きを生かした係活動を行うことで、体調にも左右されるが、提示した教材に触れながら自分の順番や係に気付き、活動への意識も高まってきている。

(2) 題材について

本題材では、担任との十分なスキンシップややり取りを通して心身の覚醒を図り、にぎやかな雰囲気の中で朝の歌や呼名などの活動をすることで友達と楽しい時間を共有し、期待感をもって一日を始めることをねらいとしている。朝の活動では、学校生活の始まりを意識できるよう、顔の清拭や健康観察を行い、生活リズムを整えていくことを大切にする。また朝の体操を取り入れ、教師が笑顔でタッピングやマッサージをすることにより、児童生徒の心身の覚醒が促され、気持ち良く学習の始まりを迎えられると考えた。朝の会では、係カードを友達に渡したり一緒に楽器を持って歌ったりするなどのやり取りをする場面を設けている。さらに、配置を工夫することにより、友達に顔を向けたり注目したりする姿を引き出したい。また、係活動を年間を通して固定し、それぞれが得意な手の動きを生かした活動に取り組むことで、最小限の教師の支援で自発的な動きを引き出すことができると考える。

以上を通して、身近な大人への関心から徐々に友達へと関心を広げ、集団の中で自分の気持ちを表したり、役割を果たそうとしたりする力を育てることができると考えて本題材を設定した。

(3) 指導に当たって

- ・朝の活動は、児童生徒が一日の始まりに気付き、朝の会が始まることへの見通しや期待感をもてるように、担任が毎日行う。
- ・朝の体操では、児童生徒の笑顔や心身の覚醒を促せるように、元気に歌いながら強弱をつけて身体をタッピングしたりマッサージしたりする。
- ・朝の活動や朝の会を通して健康観察を行い、平常時と違うところがあれば複数の教師で観察し、病棟職員に連絡や確認をする。
- ・朝の会では、見通しがもてるように係活動を固定し、毎日同じ教材を繰り返し使用する。また、児童生徒の積み重ねに合わせて少しずつねらいを高めていく。
- ・友達への意識や関わる気持ちをもちやすいように、活動に合わせてお互いの様子が見やすい配置に変えていく。また、教材やカードを友達に渡すなどやり取りする場面を設定する。
- ・児童生徒の表出をとらえ、表情や動きに合わせて静かに待ったり、言葉掛けをして活動を促したりする。